

令和元年第6回小金井市教育委員会定例会議事日程

令和元年5月28日（火）

午後1時30分開会

開催日時	令和元年5月28日	開会 1時30分 閉会 2時30分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	教 育 長 大熊 雅士 教育長職務 代理者 鮎川志津子	委 員 福元 弘和 委 員 岡村理栄子 委 員 浅野 智彦	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 大津 雅利 生涯学習部長 藤本 裕 庶務課長 松井 玉恵 学務課長 河田 京子 指導室長 浜田 真二 指導主事 田村 忍 指導主事 西尾 崇	生涯学習課長 関 次郎 オリンピック・パラリンピック兼 スポーツ振興担当課長 内田 雄介 図書館長 菊池 幸子 公民館長 林 文男 庶務係長 中島 憲彦	
調 製			
傍聴者 人 数	2名		

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	代 処 第 1 0 号	小金井市公民館企画実行委員の委嘱に関する代理処理について
第 3	報 告 事 項	1 小学校オーケストラ鑑賞教室について
		2 平成30年度小金井市立小・中学校の不登校児童・生徒数について
		3 その他
		4 今後の日程
第 4	議 案 第 6 号	職員の人事上の措置について

大熊教育長 ただいまから令和元年第6回小金井市教育委員会定例会を開会する。

日程第1、会議録署名委員の指名である。

本日の会議録署名委員は、鮎川教育長職務代理者と浅野委員にお願いする。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

大熊教育長 今日は少し時間があるので、皆様から1人ずつ、教育のことに關して一言ずつお願いしたいと思う。

まず、私のほうから、これまでの教育施策の進捗状況、それから今後の方向性を少しお話しさせていただきたいと思う。

まず、昨年度、さまざまな教育の改革に取り組んできた。1つは、一番最初に起きた小金井市の教職員に対するセクハラ、いわゆるマタハラといわれるパワハラ防止要綱を設置したり、それから、今も突然暑くなったが、熱中症対策に取り組んで、『夏は「すきか?」と問いかけよう』というパンフレットを配らせていただき、熱中症対策にも取り組んできた。

大きな取り組みとしては、道徳の教科書を選定すること。

また、授業改革に各学校で取り組んでいただけるように、教育課程の方針等も改めてつくらせていただいたなど、さまざまな施策に取り組んできたところである。

本年度も、4つの本気を進めさせていただき、学校の教育のあり方について考えていただきたいと思います。

1つ目の本気は、本気の授業改革ということである。来年度は小学校、再来年度は中学校の学習指導要領が本格実施となる。そこで掲げられている内容が、授業改革の視点として、主体的・対話的で深い学びというところである。これに向けて、今、子どもたちが先行き不透明な世の中でもたくましく生きていけるような真の学力をつけてもらうために、本気の授業改革を進めてほしいと校長会等を通して話をさせていただき、研修を充実させているところである。

2つ目が、本気のいじめ・不登校対策である。今日は、不登校児童・生徒数も報告があると思うが、今、子どもたち一人一人が、そ

の子らしさを最大限伸ばすためには、いじめであるとか、不登校であるとかいう問題を根本的に解決できる施策を打っていく必要があると思っている。それにはまず最初に、不登校・いじめの早期発見、早期対応ということが何より大事ではないかと思っている。

それを実現するために、今、不登校の調査も行ったたり、いじめの調査を行ってはいるが、さらにそれを一歩進めるために、早稲田大学と連携を図りながら、WEBQUというソフトを使って、子どもたちの実態把握に努め、そこで課題が発見された場合には、いち早く対応できるようにしてまいりたいと考えている。

3つ目の本気は、本気の働き方改革である。これまでも、さまざま取り組んでいったが、今、一人一人の先生方にコンピューターが配られている。それが、クラウドに情報が上げられるようになっていて、それは小金井市独自のクラウドになっている。そこで各先生方が自分の教育実践をアップすることによって、ほかの先生方に情報提供ができるというシステムを構築しようとしているところである。それによって、授業改革、日常の授業を進めるときに、それらの情報をもとにして、授業に取り組んでいってもらえるようになるれば、効率的に授業を進めることができるようになるかと考えている。情報の共有化によって、先生方の教材を考える時間を短縮することができれば、働き方改革を進めることになるのではないかと思う。指導案だけではなくて、そこで使った資料の共有ができるようになればよいと考えている。

それから、もう1つの本気は、本気の子どもの放課後の充実である。今、子育てをするときに孤立化が進んでおり、多くの大人とかがかわることなしに、子どもが年を重ねていってしまうことが多いかと思う。子どもが成長するためには、やはり先生と親だけの関係から、より多くの大人とのかかわりが必要だと考える。そのためにも、子どもの放課後が充実することが大切だと考え、それを実現するために、本年度コミュニティースクールの研究校を緑小に設定して、コミュニティースクールのあり方の研究をしていただきたいと考えている。その成果をもとにして、今後各学校でも同様のコミュニティースクールとして、学校をつくっていきたいと考えている。そのコミュニティースクールでは、子どもの放課後のあり方についても検討していただければと思っている。

それから、生涯学習に関しては、やはりオリンピック・パラリン

ピックが目前に迫っているので、教育委員会を挙げて、市民にとっても子どもたちにとっても、一生に一度の機会であるから、それが充実できるようにしてまいりたいと思っている。

それから、最近は人生100年時代と言われるようになり、第2、第3の学びの場としての公民館活動が充実することは、喫緊の課題であろうと思う。生きがいを持って日々過ごせるように、多くの人たちのかかわりを深めるためにも、さらなる公民館活動の充実に向けて努力してまいりたいと思う。

最後に、図書館のことであるが、AIが進展していったとき、人間に一番大事だと言われているものに、文章を読む力、読解力が挙げられている。読解力なくしては、実は物事もよく考えられない。そういう力をつけるために一番重要な場所がまさに図書館であろうと考えている。広く市民にとって有効な図書館になるよう、今後とも改善を図ってまいりたいと思っているところである。

一応、私のほうから本年度の教育の方針について、お話をさせていただいた。

それでは、各委員の皆様方から教育に対するご意見等あったら、お話ししていただければと思う。

お願いする。

福元委員

今、教育長が言われた本気の授業改革は特に重視していかなきゃいけない部分かと思っている。これまで、小金井市では、授業を大事にするということに力を入れ、各学校が授業改善には他市以上に大きな取り組みをしてきて、それなりの成果を上げてきた。今の教育長の話にもあったように、先行き不透明な時代が近づいてきている。AIの進展等もあって、今の子どもたちが大人になるころには、今ある仕事が半分以下になるんじゃないかということも言われている。

その中で今の子どもたちが生きていくためには、目の前の課題にしっかり対応できる力をつけていかなきゃいけないということがある。先ほど話にあった主体的・対話的で深い学びという授業改革の視点があげられた。これからの不透明な世の中にあっても、子どもたちがたくましく生きていくためには、それに対応できる力をどうしても養っておかなければならない。そういうことを考えると、この部分を大事にしていただきたいと思います。

大熊教育長 ありがとうございます。
 ここで一言、いかがか、指導室長。今の意見を聞いて。よろしく
 願います。

浜田指導室長 おっしゃるとおり、本気の授業改革、小金井市教育委員会として
 も、学校訪問、そして、主体的・対話的で深い学びに向かって授業
 改革を本気で支援していきたいと考えている。ご意見ありがとうございます。

大熊教育長 よろしいか。ほかにあるか。
 鮎川委員。

鮎川教育長
職務代理者 先ほど教育長のお話を伺って、まず「本気の」という言葉がとて
 も良いと思った。精神論で本気がいいというだけでなく、科学的に
 も、本気ですると身につく、記憶にも残る。例えば本気でストレッチ
 をすると、その部分の血流がより良くなる。科学的なデータがあ
 ると聞いている。教育に本気で取り組んでいこうという小金井市教
 育委員会の姿が、この言葉にあらわれていると思い、とてもすばら
 しいと思った。

 時間も限られているので、挙げられた中で1つだけ感想を申し上げ
 る。本気の働き方改革について、働き方改革は、何年にもわたっ
 て新聞等でも取り上げられ、必要性が叫ばれているが、一時的に取
 り組みをした後良くなっても、根本的な改革がされないとまた元
 に戻ってしまう。勤務時間が少なくなる数字があらわれても、実際
 にあまり改善されていないという話も聞いている。

 情報の共有化によって、できるところは効率的に進めていく、子
 どもたちとしっかり向きあう時間を確保する。効率化の1つとして、
 教材、指導案、その他資料などについて、市独自のクラウドに載せ
 て、皆で共有することは、大きな改革になると思う。

 また、効率化だけではなく、ほかの先生方の指導案を見たり、ベ
 テランの先生でもご自身と違った視点での資料を見つけたり、経験
 の浅い先生方にとっては、先輩方の授業について学ぶ機会だと思
 う。効率化にあわせて質も高まる。先生方1人1台のPCに加えて、セ
 キュリティも保証されている市独自のクラウドを最大限に活用
 して、先生方の負担が減る方向に向かうといいと思っている。

以上である。

大熊教育長

ありがとう。

田村指導主事、何かあるか。よろしいか。

田村指導主事

働き方改革というところで、クラウドの情報共有なのだが、ちょうどフォルダーの整理がついて、とにかく、まずは本年度情報を一旦入れていこうと。あとは、ファイル名をあらかじめ指定したので、そこで検索をかけたたり、今後整理整頓をして、教科ごとだとか、そういうこともできるように考えていっているところだが、それはまた働き方改革につなげていければと考えて、今、進めているところである。

以上である。

鮎川教育長
職務代理者

蓄積された情報を、引き出すための整理も大変かと思うが、よろしく願います。

大熊教育長

ほかの委員の皆さん。どうぞ。

岡村委員

先週の土曜日、南中学の体育大会に行ってきた。めちゃくちゃ暑くて、私は午後に行ったが、参加の方々はみんな大丈夫かなと思っていたのだが、子どもたちはみんな元気で頑張っていた。それで、最後に校長先生のご挨拶でみんな頑張ったねとおっしゃったら、保護者の方全員でもう大拍手で、ほんとに暑い中みんな頑張ったと思って、そのときに、こういうふうに学校行事は保護者と子どもたち、教員がコミュニケーションするのにいいということと、そういうことをすることによって、子どもたちは1つのことをなし遂げる喜びを感じるのかなと思って、いい行事だなと思った。

それと昨今、ほんとに体を動かす子と動かさない子の差があまりにも激しくて、学校の体育はすごく大切である。生涯にわたる健康を得るには、やはり体を動かすことが大切なので、この機会にそれを学んでいただいたから、すごくよかったと思った。

あと、うちの患者さんの子どもたちに聞いているのだが、オリンピック・パラリンピックに皆さんあまり興味がないみたいで、心配している。私なんかチケットを申し込んで、「何申し込んだ」とか

言うと、みんな「ええ？ そんなに」という感じなのだが、やっぱり一流の選手が見られるし、人を応援することによって、自分もよく学ぶということがあるので、医師会もパラリンピック、みんなで何か頑張ると言っていたのにあまり動きがなくて、わりと盛り上がりがないということを心配している。

それとは別に、来週また体育祭があるので、毎年、体育祭は先生たちがついているので大丈夫なのだが、ほんとにこんなに暑いのが5月からだと、6月、7月がものすごく心配なので、そちらの対応もよろしくお願ひしたいと思っている。

よろしくお願ひする。

大熊教育長 どうか、オリンピック・パラリンピック兼スポーツ振興担当課長。

内田オリ
ピック・パ
ラリンピ
ック兼ス
ポーツ振
興担当課
長 今日がちょうどチケットの公式販売の締め切りになる。是非皆さん、買ってほしい。

大熊教育長 今日まで。

内田オリ
ピック・パ
ラリンピ
ック兼ス
ポーツ振
興担当課
長 今日まで、28日なので。

岡村委員 30日だと思っていた。一番最初の頃に申し込みました。

藤本生涯
学習部長 夜が締め切りである。
あと機運醸成ということだが、やはり盛り上げていくことは大事だと考えている。今後は横断幕であったり、のぼりなどを活用しながら、市民の方々にもオリンピックが近づいているんだというところをこれからPRしていきたいと考えている。

岡村委員 何か私たちの世代はすごく盛り上がっているのに、どうして若い人は興味がないんだろうかと。見逃してしまったという小学生時代の思いが強いのですが……。

藤本生涯
学習部長 学校関係にはポスターだとかというのはお配りし、周知を図り、盛り上げていく。

岡村委員 一流選手を見て、すごく自分が盛り上がったとか、パラリンピックもすごく大切なので、盛り上がっていきたいと思う。

浜田指導室長 熱中症対策について、確かに暑かったと思う。昨日は、消防庁から来た通知と、うちの『夏は「す き か？」』という昨年つくったやつをあわせて学校に通知して、熱中症対策を十分とってくれということをお話したけど、そうしたら、今日は文科省からも熱中症対策に対する通知が来て、それも本日配ってということで、もう国中、みんなで心配しているところなので、学校にはこれからも徹底していききたいなと思っている。

以上である。

岡村委員 ありがとう。

大熊教育長 はい、どうぞ。

浅野委員 私、先日小金井市の小・中学校のPTA連合会の理事総会という集まりに出席をして、今年は後半にワールドカフェという企画で、何人かの方とお話をする機会があった。改めて、小金井市内に志の高い方がたくさんいらっしゃるということを実感した。小金井市の、いわば地域のかみみたいなものを再認識させてもらう良い機会だったと思っている。

そういう地域のかみをこれから積極的にかりていくことが、学校を運営していく上でとても大切なことだし、これからもっと大切になっていくんじゃないかなと考えている。力をかりる側の体制ということを考えてみると、かりる側もやはり体制を少しいろいろ工夫していく必要があるところもあるんだろうなと思う。

今、教育長から話のあった放課後の子どもの過ごし方とか、コミ

ユニティースクールとかいったトピックがここに関連してくると思うのだが、部門間の協力をさらに密にしていく必要があるのかなと。放課後子どもクラブ1つとっても、学校教育と生涯学習が関係していることはもちろん、子育て支援に関する部門も、やはり学童というのはすごく大きなアクターなので、かかわってこざるを得ないし、是非力をおかりしたいところでもあるんだと思っている。そういう、こちらとしてもセクションの壁を超えた密な協力ということを、これから心がけていく必要があるのかなと思っている。

このことがコミュニティースクールを、何というか、実のあるものにするというか、実り多いものにしていくための1つの条件でもありうるだろうし、そのもとでコミュニティースクールを、もしうまく小金井市で花開いて定着していくとするならば、新しい指導要領でいわれているところの社会に開かれた教育課程というものの実を得ることができる、実現を見ることができるのかなと思っている。

以上である。

大熊教育長 ありがとうございます。何か。

福元委員 もう1ついいか。

大熊教育長 どうぞ。

福元委員 先ほど教育長が4つの本気として出されたいじめ、不登校対策である。去年かなり研修会をやったり、学校の体制を改善したり、それからカルテを活用したりして、この問題に取り組んでいただいた。不登校、特にいじめの問題は、本人が努力しても解決できない部分が多い。特に、教育委員会としても、学校としても、力を入れてほしい部分である。何とか早期発見、早期対応ができるような方法を引き続いてしっかりお願いしたいと思う。

大熊教育長 このことに関しては、後の報告事項のところをお願いする。

それでは、ありがとう。

こういう形で話が進むことも重要だと思うので、今後もよろしく
お願いする。

それでは、議事に入る。日程第2、代処第10号、小金井市公民館企画実行委員の委嘱に関する代理処理についてを議題とする。それでは、提案理由の説明をお願いします。

藤本生涯
学習部長

提案理由についてご説明する。

本件については、小金井市公民館企画実行委員を委嘱する必要が生じたが、本件は教育委員会の議決すべき事項ではあったが、教育委員会を開催する時間的余裕がなかったことにより、小金井市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定に基づく代理処理をしたことについて、同条第2項の規定によりその承認を求めるものである。

細部については担当から説明するので、よろしくご審議の上ご承認賜るようお願い申し上げます。

林公民館長

それでは、細部についてご説明する。

欠員となっていた第25期緑分館企画実行委員の1名につき、5月1日の市報での募集、その後の説明会、調整会を経て、平成31年5月17日に委嘱に関する代理処理を済ませたので、ご承認賜るようお願い申し上げます。被委嘱者氏名、任期は記載のとおりである。

また、今回の処理で公民館全体での企画実行委員の欠員がなくなり、資料の一覧のとおり、各館6人、計30人がそろう形になった。女性の比率としては、全30人のうち11名で、割合は37%となっている。

以上、説明とさせていただきます。よろしくをお願いします。

大熊教育長

事務局の説明は終わった。本件に関し、質問、ご意見はあるか。どうぞ。

岡村委員

平均年齢とかはあるか。

林公民館長

年齢は、今ここではとってはいないが。

岡村委員

わりと高齢の方、高齢と言っておかしいが、多いですか。

林公民館長

やはり、平日に実行委員の活動ができる方になるので、比較的高

齢の方がという形になっている。

大熊教育長 よろしいか。

岡村委員 前に行ったときにあまり若い人がいないなと思って、日中、委員会とか出られないからかなと、いろいろ考えたことがあった。

大熊教育長 ちょっと年齢を調べていただき、今の課題について、またいつか答えられるときがあったら、答えていただければと思う。よろしく願います。

以上で質疑を終了する。

それでは、お諮りする。代処第10号、小金井市公民館企画実行委員の委嘱に関する代理処理については、承認することにご異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長 異議なしと認める。本件については承認することと決定した。次に、日程第3、報告事項を議題とする。順次、担当から説明願う。初めに、報告事項1、小学校オーケストラ鑑賞教室について報告願う。

田村指導主事 小学校オーケストラ鑑賞教室についてご報告する。今年度は、5月17日金曜日、午後2時から3時10分まで、武蔵野市民文化会館でオーケストラ鑑賞教室が開催された。この鑑賞教室には、小学校6年生の児童854名が参加した。東京ニューシティ管弦楽団によるオーケストラで、ブラームスの「ハンガリア舞曲第5番」やエルガー作曲の行進曲「威風堂々」などの演奏を鑑賞した。児童は、オーケストラの奏でるメロに引きつけられる様子で演奏を聞いていた。本年度は、演奏者が増えたことにより、一層迫力のある演奏を聞くことができた。また、日本の民謡が素材となっている「管弦楽のためのラプソディ」も印象的だった。指揮者体験や合唱などの体験的なプログラムも組み込まれており、全員合唱の「すてきな友達」では、生のオー

ケストラの演奏に乗って、心を込めて歌う子どもたちの姿が見られた。

小学校オーケストラ鑑賞教室では、格調高い生演奏を聞くという貴重な経験を通じて、児童の音楽を愛する心情や豊かな情操を育むことができたと考えている。また、音楽鑑賞をする上での態度やホールという公共の場での過ごし方など、マナーということについても学ぶことができ、大きな成果があった。

報告は以上である。

大熊教育長 事務局の説明は終わった。本件に関して、質問、ご意見はあるか。

岡村委員 子どもたちはいろんな経験をしないといけないのに、さっきお話があったように、個人で教育しているという感じに孤独化しているので、私の患者さんでも一度も小学生で動物園へ行ったこともない子もいる。いろんなことを学校で経験させてあげて、自分の好きなものとかが見つかるようにしたい。なかなかクラシックというのは聞く機会がないので、ものすごく好きになる子もいるかもしれないし、いろんな機会を学校で与えてくれるのはありがたいと思う。

大熊教育長 委員の皆さんも1回行ってみるのはいかがか。

鮎川教育長 何回か行かせていただいたことはある。よかった。
職務代理者

大熊教育長 では、またそういう機会もよろしく願います。
それでは、事務局の説明は終わった。本件に関し、質問、ご意見はあるか。よろしいか。

以上で、小学校オーケストラ鑑賞教室について係る報告を終了する。

次に、報告事項2、平成30年度小金井市立小・中学校の不登校児童・生徒数について、報告願う。

浜田指導室長 報告事項2資料をご覧いただきたい。小金井市立小・中学校の不登校児童・生徒数について、報告させていただく。

平成30年度小金井市立小学校における不登校児童数は51人

だった。また、中学校における不登校生徒数は78人だった。

平成28年度からの推移を見ると、不登校児童・生徒の出現率は、小金井市は増加傾向である。全国的にも同様の傾向があらわれている。

指導室としても、平成30年度から不登校対策として、不登校児童・生徒個人指導カルテの活用、関係機関を招集した不登校対策会議、もくせい教室における支援の充実等、さまざまな取り組みを行ってきたところである。不登校児童・生徒の状況改善を目指し、各学校の対応を今後も支援していきたいと考えている。

報告は以上である。

大熊教育長 事務局の説明は終わった。本件に関し、質問、ご意見はあるか。

浅野委員 よろしいか。

小金井市、東京都、全国と3つ数字を挙げていただいて、大変見やすくありがたいと思う。それで、それぞれの数字の基準というか、とり方というのは同じなのか。不登校を何人と数えるかということに関する基準は、この3つで同じものを使っているのか。

浜田指導室長 全国の問題行動等調査ということで、基準等は全て一緒になっている。

浅野委員 もし今すぐわかるようなら、その基準、例えば何か月以上とかいう。わかったらで結構で、もしあれなら後で。

浜田指導室長 わかれば……。

浅野委員 では、後でまた個別に教えていただければ。

大熊教育長 何か月以上、何日以上。

浅野委員 何日以上とか、何か基準がある？

大熊教育長 ある。

田村指導主事 長期欠席というところを出していて、例えば、病気の欠席というところも増えたりして、その中の不登校と経済的な理由というのが分かれているが、基本的に30日以上。

大熊教育長 年間30日以上休んだ場合には、長期欠席児童・生徒としてカウントする。そこで、その理由は何かということで、不登校なのか、病気なのか、経済的理由なのか、その他に分類するのかということで、その中の不登校とカウントした数字がこれである。

浅野委員 これは、全部同じデータから単位を変えてピックアップしている数字と考えていいか。大もとになる調査は同じで、その中から東京都と小金井市をピックアップしているのか。

浜田指導室長 はい、そのとおりである。

浅野委員 わかった。
あともう1つ、よろしいか。不登校のことに関しては、昨年以來カルテシステムを導入して、より詳細な状況を市としては把握していると思うが、何か傾向性のようなものがあったら教えていただきたい。

浜田指導室長 不登校の要因のところだが、特に小学校では無気力の傾向というのが増えており、中学校においては、いじめではないが、友達関係をめぐる問題、人間関係に関する要因が増えていることが特徴的である。あとは、その他というのが増えていて、分類不能というか、さまざまな要因が絡まってということで、今までは、こういう傾向とうまく説明がつけられたが、今は多様化して、その子それぞれにさまざまな要因で不登校になっているということが見えてきた。
以上である。

浅野委員 ありがとう。

大熊教育長 ここで心配なのが、平成29年度から30年度にかけて、小学校の不登校児童の数が急激に増えていることだと思う。このことについて、やはり原因をある程度明らかにして、適切な対応をしたいと

考えているところである。

それから、東京都と全国の出現率についての割合は、8月に速報値が出て、正式には12月ぐらいに確定値が出るという、かなり遅くなるが、今この数字をもって、いわゆる不登校児童・生徒の急増を各学校に報告させていただき、素早い対応をしてまいりたいということで今回報告させていただいた。正式発表を待つと12月ぐらいになってしまうので、そのときにはもう対応ができないので、今回こういう形で載せていただいたが、東京都がどのぐらいの数字になるかはまだちょっとわからない。でも、小金井市にとっては、重大な問題と取り上げていきたいと思っているところである。

何か先ほどの意見、どうか。

福元委員

不登校の要因として友達関係とか、無気力とかというものが深刻な問題になっている。いじめを含めてここの部分は、子どもが自分で努力して解決できるものではない。今、教育長が言われたように、さまざまな方法を使って、早期発見、早期対応できるよう、さらに対応に力を入れる方向で進めていただければと思う。

大熊教育長

この形で、これまであまり数字としては報告していなかったが、急激な増加について、やはり真摯に受けとめ、しっかりとした対応をしてまいりたいと思う。その1つとして、東京学芸大学の心理の専門家にも今回の対応について検討していただき、見ていただくという形の予算化をしているので、改善に努めてまいりたいと考えているので、その進捗状況等が動いたら、また報告させていただきたいと思う。

以上で、平成30年度小金井市立小・中学校の不登校児童・生徒数についての係る報告を終了する。

次に、報告事項3、その他である。学校教育部から報告があれば、発言を願う。

大津学校
教育部長

学校教育のさらなる委託について、学務課長のほうから報告していただく。

河田学務課長

小学校給食調理業務のさらなる委託について報告する。

小学校給食調理業務については、平成25年9月から5校を民間

委託し、4校直営、5校委託で運営されているところである。民間委託で生み出された財源は、学校給食の改善、明日の小金井教育プランの推進など、子どもたちへ還元できている。また、小金井の給食を守り、あらたな展開を進めるための取り組みも進んでいる。

平成29年2月3日の行財政改革市民会議での答申を踏まえ、その後策定されたアクションプラン2020に基づき、小学校給食調理のさらなる委託を進めたいと考えている。アクションプラン2020では、平成30年上半期を課内検討の時期として、その後、現在は庁内検討の時期と位置づけている。市では厳しい財政運営が続いており、教育分野でも、学校施設の老朽化に対応した学校施設の建てかえや長寿命化改修などの多額の財源が必要な状況である。アクションプラン2020では、取り組み項目の1つとして、公民連携アウトソーシングの推進を掲げており、全職員により本気で行財政改革に取り組まなければならない。

5月21日に職員団体に市の方針を提案した。市の方針としては、全校委託を見据えて、段階的に委託を進めていきたいと考えている。時期など内容の詳細については、まだ協議を始めたばかりで決定していることではないが、学校給食においては、子どもたちに安定的に継続して給食を提供することが何より大切である。

今後の運営方法について、まず職員組合との協議を丁寧に進めていきたいと考えている。また、まだ先になると思うが、適切な時期に学校や保護者への説明なども丁寧に進めていきたいと考えている。

報告は以上である。

大熊教育長 事務局の説明は終わった。本件について、質問、ご意見はあるか。

岡村委員 今おっしゃったように、やはり学校給食においては、子どもたちに安定的に継続して給食を提供するということがすごく大切なことで、それを推進するのは大切なことなので、よく話し合って、子どもたちにいいようにしていただきたいと思う。安定した供給がなくなると困る子がいっぱいいるので、よろしくお願ひしたい。

大熊教育長 よろしいか。
続いて、生涯学習部から報告事項があれば、発言願う。

藤本生涯
学習部長 生涯学習部から、今日お配りしてある小金井市史について、担当の課長のほうから報告させる。

関生涯
学習課長 小金井市史編さん事業についてご報告がある。
報告の時期としては少し遅くなってしまい、大変申しわけなかったが、平成20年度より取り組んできた市史編さん事業が大きな節目を迎え、昨年度の市制施行60周年を記念して、小金井の歴史を通史編と資料編の最終巻である考古・中世を昨年度作成して、現在販売している。

通史編については、小金井の歴史3万5,000年の流れを一書にまとめ、旧石器時代から平成元年ごろまでの小金井の成り立ちを紹介してある。

資料編、考古・中世については、貫井遺跡や本町6丁目遺跡などの市内の遺跡の、発掘されたさまざまな時代の出土資料を貴重な写真や図版で解説してある。

是非お読みいただければ幸いである。

以上である。

大熊教育長 これはとてもおもしろい読み物になっているので、是非。ちょっと取っつきにくい部分があるかと思うが、少し読み進めていただくととてもおもしろいと思う。

ほかにあるか。

なければ、次に報告事項4、今後の日程について事務局より報告願う。

中島庶務係長 それでは、教育委員会の今後の日程について、報告する。

平成31年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会（山梨大会）が、5月31日金曜日に山梨県北杜市の女神の森セントラルガーデンで開催する。福元委員にご出席をお願いする。

続いて、令和元年第7回教育委員会定例会が7月9日火曜日午後1時30分から、801会議室で開催する。全委員に出席をお願いする。

続いて、令和元年第8回教育委員会定例会が7月30日火曜日午後1時30分から、萌え木ホールA・B会議室で開催する。全委員

にご出席をお願いする。

続いて、令和元年第9回教育委員会定例会が8月27日火曜日午後1時30分から、801会議室で開催する。全委員にご出席をお願いする。

今後の日程は以上である。

大熊教育長

以上で、報告事項を終了する。

次に、日程第4を議題とするところであるが、本案は人事に関する事件で、小金井市教育委員会会議規則第10条第1項に規定する事件に該当するため、非公開の会議が相当と判断するが、委員の皆様、異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長

全員異議なしと認め、秘密会を開会する。

準備のため、休憩する。

傍聴人の方におかれては、席を外していただくことになるので、どうかよろしくをお願いします。

休憩 午後2時19分

再開 午後2時29分

大熊教育長

再開する。

以上で本日の日程は全て終了した。これをもって令和元年第6回教育委員会定例会を閉会する。

閉会 午後2時30分